

ホクト株式会社

2027年3月期第1四半期 決算説明資料

2026年8月19日

東証プライム市場:1379



1. 2027年3月期第1四半期 決算報告

2. 北米事業の展望

3. 参考資料

1Q業績は黒字幅拡大。北米事業成長への基盤構築が進展

国内事業

国内はきのご単価好調により増収増益

- ・ マーケティング活動が功を奏しきのご単価が好調に推移し売上増
- ・ 中東情勢の影響は限定的。コスト低減施策の進捗により製造コスト抑制

海外事業

北米事業の拡大に向けた成長基盤を着実に構築

- ・ 米国第2工場の計画は順調に進捗
- ・ 当社が主軸とするブナシメジ・エリンギ・マイタケ市場は引き続き伸長
- ・ 同市場において、中計達成を目したロードマップ（後述）に沿って営業体制の強化を推進中

株主還元

- ・ 2027年度の間配当は10円を予想（前回予想から変更なし）

新規開拓・エリア戦略等の推進やマーケティング活動が奏功したことにより、
国内のきのこ価格は堅調に推移し、売上高、営業利益ともに前年を大きく上回った。

(百万円)

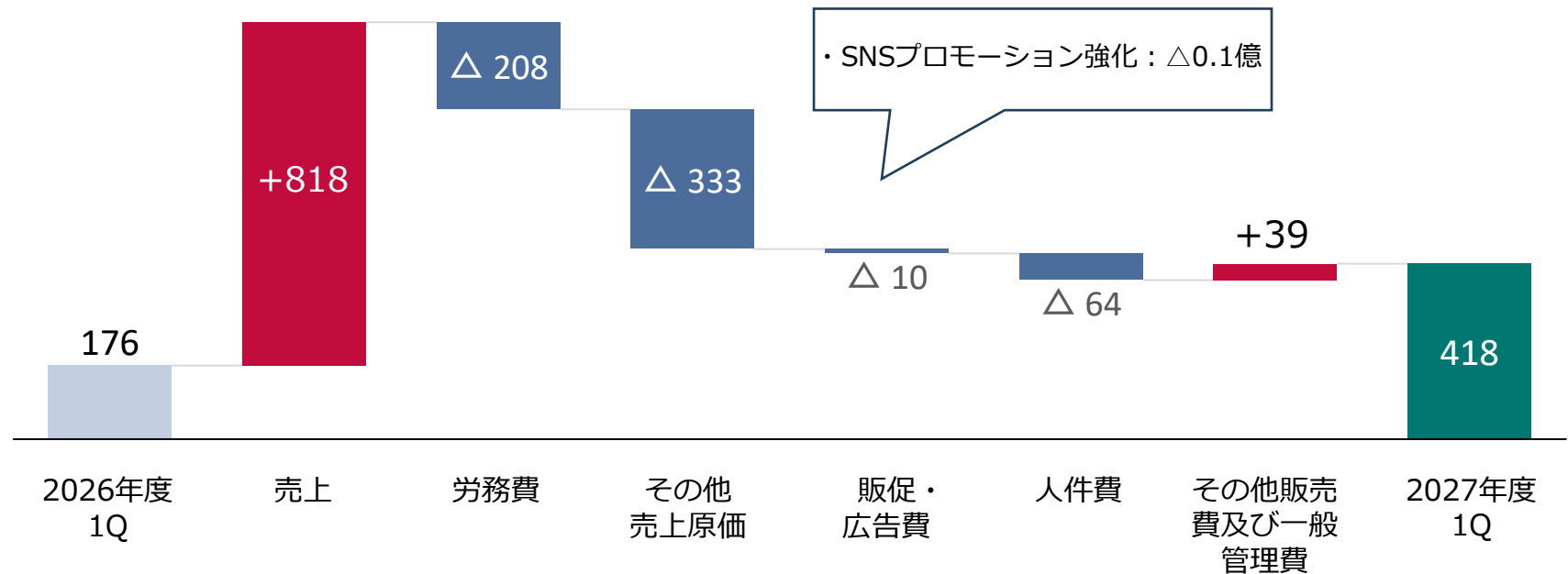
	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	18,524	19,343	818	4.4%
売上総利益	4,368	4,645	277	6.4%
売上総利益率	23.6%	24.0%		
販管費	4,191	4,227	35	0.9%
営業利益	176	418	241	136.8%
営業利益率	1.0%	2.2%		
経常利益	147	777	629	426.1%
経常利益率	0.8%	4.0%		
当期純利益	1,358	452	△905	△66.7%
当期純利益率	7.3%	2.3%		
一株当たり利益	43.43円	14.44円		

▶▶ 2027年3月期第1四半期 営業利益の増減要因

中東情勢の影響はあったものの、国内きのこの堅調な価格維持や化成品事業での価格改定による収益性の確保等によりカバーし、営業利益は前年比2億円のプラスとなった

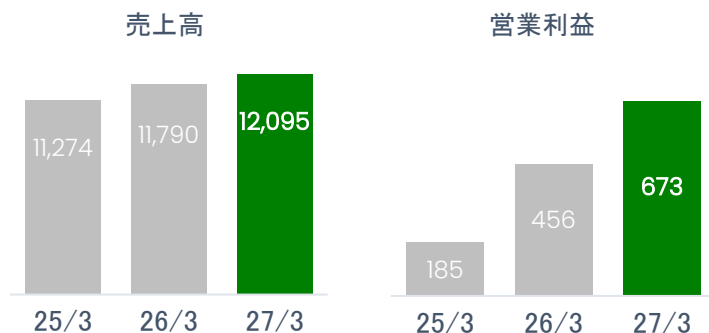
- ・国内きのこ：+3億円
- ・化成品：+4億円

(単位：百万円)



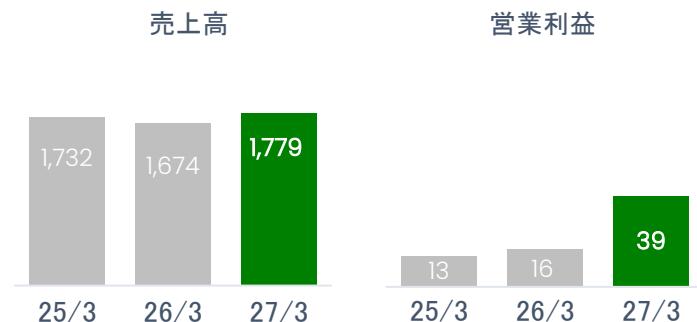
国内きのこ事業

✓ 営業戦略の推進や、マーケティング活動の奏功によりきのこ単価が堅調に推移し**増収増益**



加工品事業

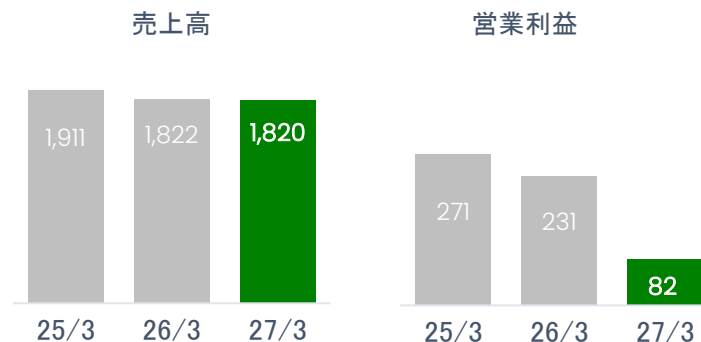
✓ 主にアーデンにおいて、5月までは得意先からの受注に苦戦したものの、6月に大幅回復し**増収増益**



海外きのこ事業

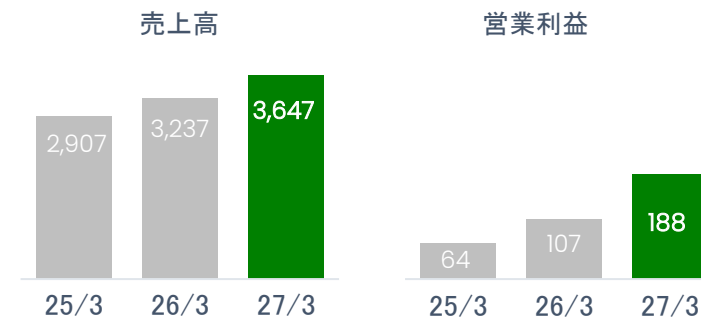
（単位：百万円）

✓ アメリカでの主要顧客の入札不調に加え、マレーシアの不調も影響し**減収減益**



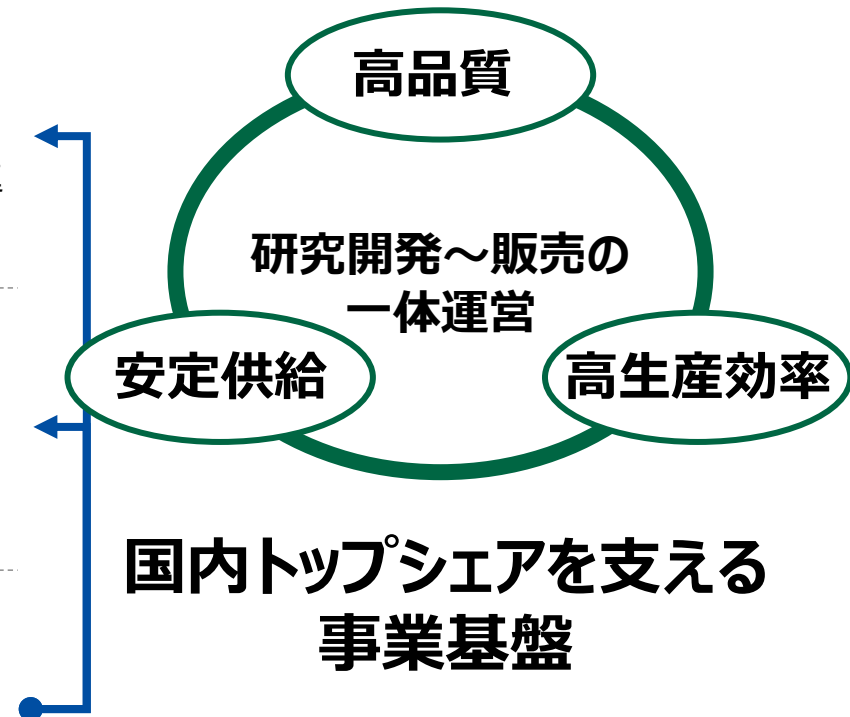
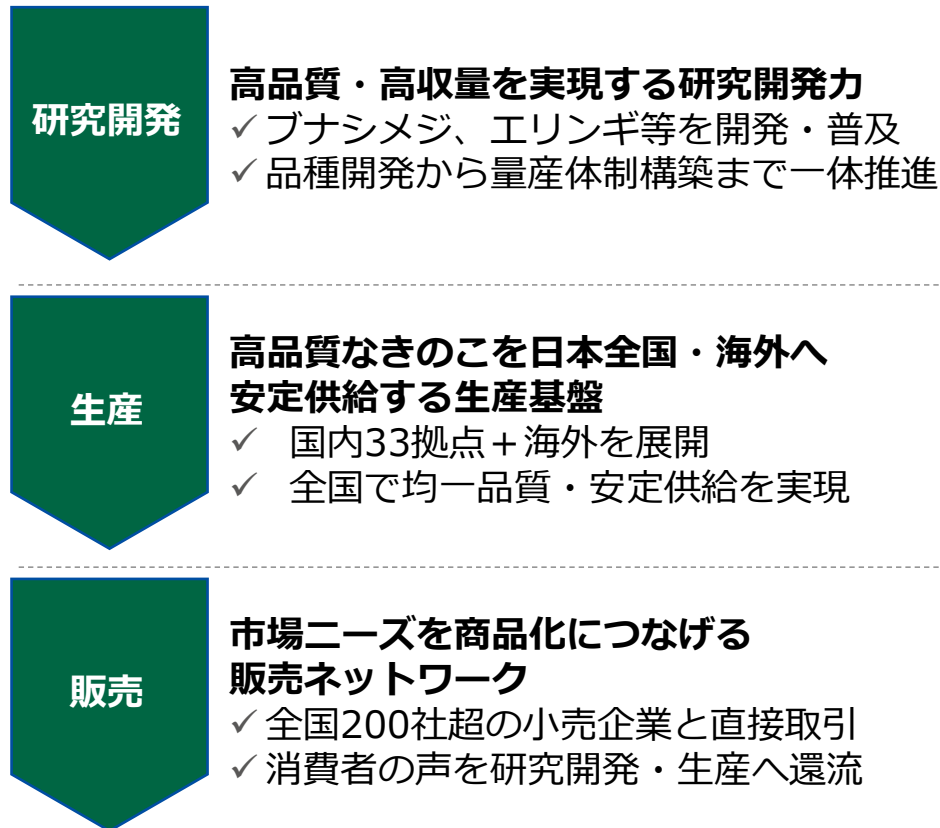
化成品事業

✓ 中東情勢の影響もある中、安定供給と価格改定に注力し、収益確保に努めたことで**増収増益**



研究開発を起点に、栽培資材・全国生産網・直接販売網を一体運営することで、
高品質・安定供給・高生産効率を実現

競争優位の源泉

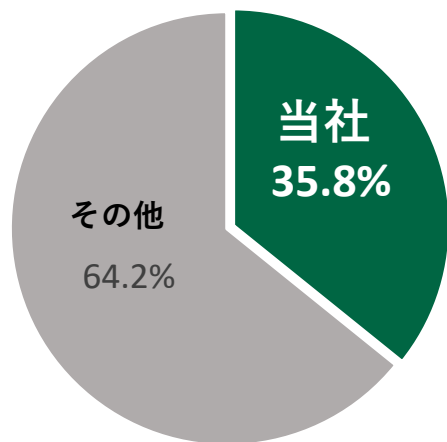


国内トップシェアを支える
事業基盤

栽培資材・加工機能も内製

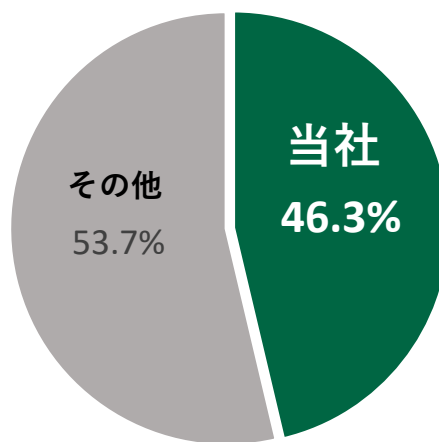
当社は主力の3種において圧倒的シェアを有し、マーケットリーダーとして市場を牽引

ブナシメジ



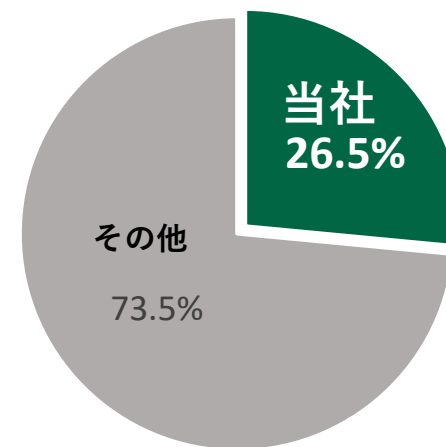
国内総生産量
117,536 t

エリンギ



国内総生産量
34,639 t

マイタケ

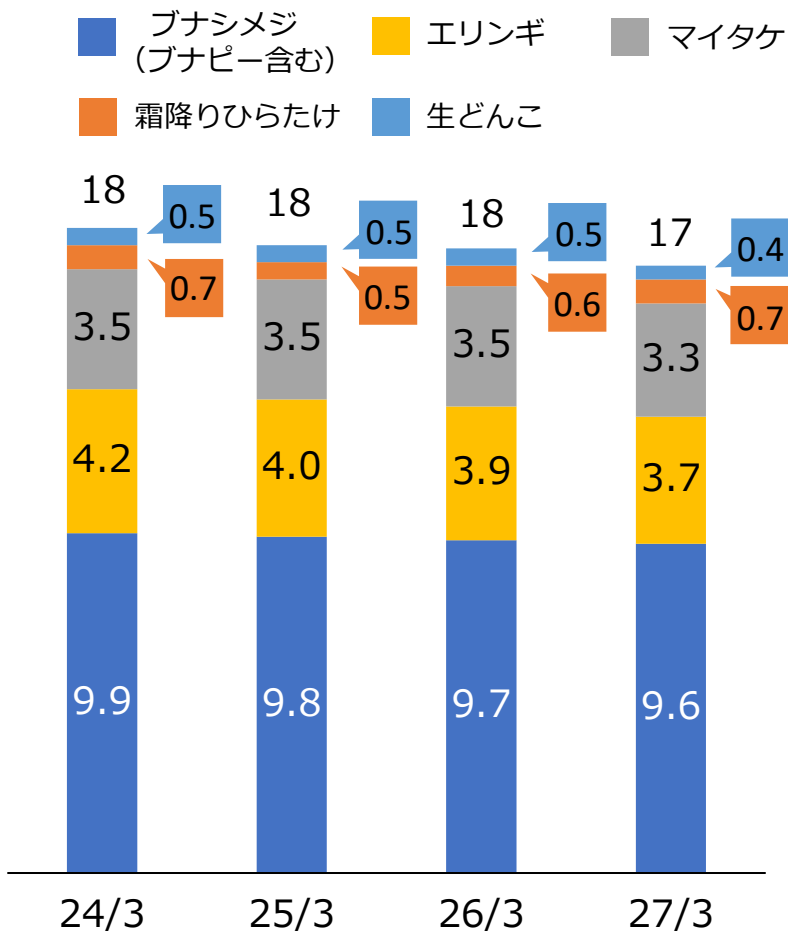


国内総生産量
56,609 t

▶▶ 2027年3月期1Q 国内きのこ種別生産量・単価の推移

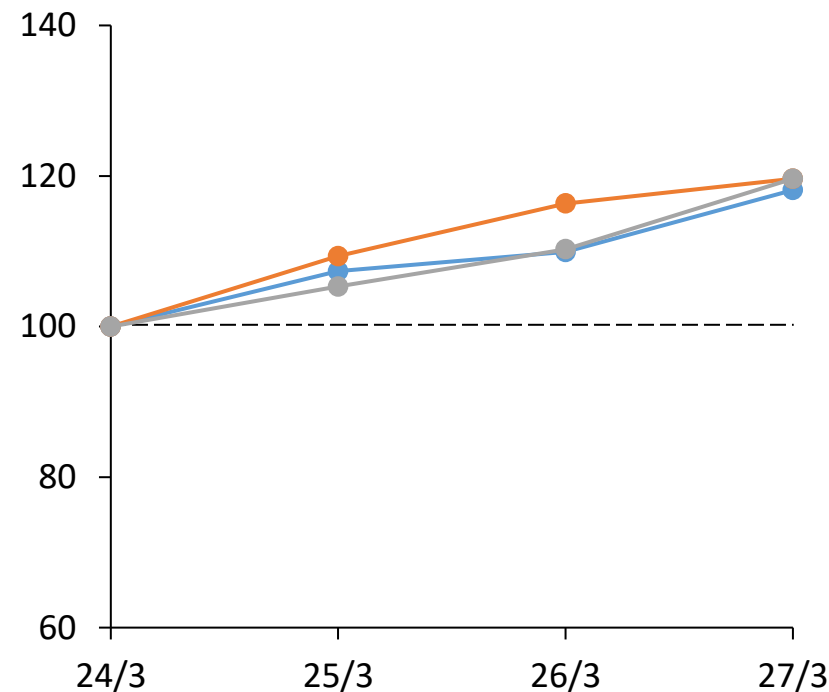
需要予測に基づく生産調整とエリア戦略の推進により生産量を維持しつつ安定的な単価向上を実現

生産量の推移（1,000t）



主要アイテムの単価推移（指数）

マイタケ エリンギ ブナシメジ（ブナピー含む）



アメリカでの主要顧客向け販売の縮小に加え、マレーシアの不調も影響し減収減益

		2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前期比増減額	前期比増減率
アメリカ	売上高	708万\$	607万\$	△100万\$	△14.2%
	営業利益	89万\$	△25万\$	△114万\$	—
	為替	144.81	162.39		
台湾	売上高	134百万NT\$	135百万NT\$	1百万NT\$	0.8%
	営業利益	18百万NT\$	18百万NT\$	0百万NT\$	△0.3%
	為替	4.96	5.10		
マレーシア	売上高	349万RM	336万RM	△13万RM	△3.8%
	営業利益	△69万RM	△85万RM	△16万RM	—
	為替	34.26	40.09		

**アメリカは販売量を維持しつつも入札不調により1Q単価は減少傾向。
東南アジアは単価維持しつつ販売量強化に向けた施策を実施中**

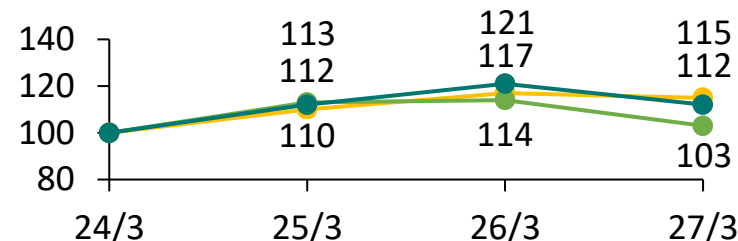
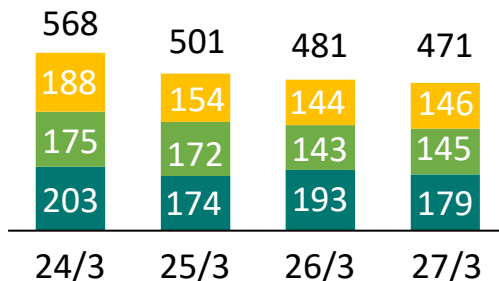
生産量の推移(単位:t)

単価の推移(指数)

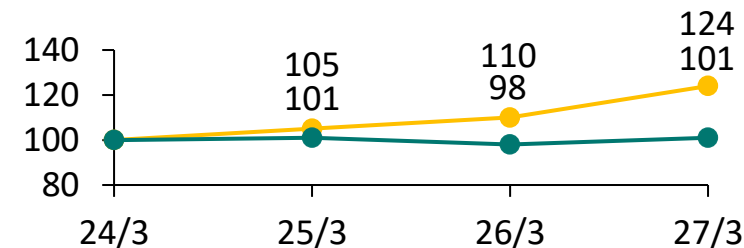
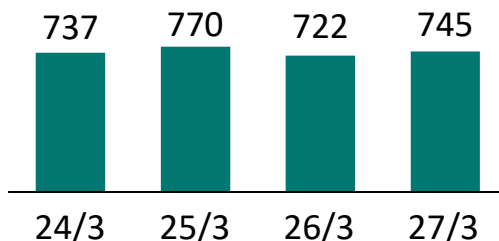
■ マイタケ ■ エリンギ ■ ブナシメジ(ブナピー含む)

● マイタケ¹ ● エリンギ ● ブナシメジ(ブナピー含む)

アメリカ

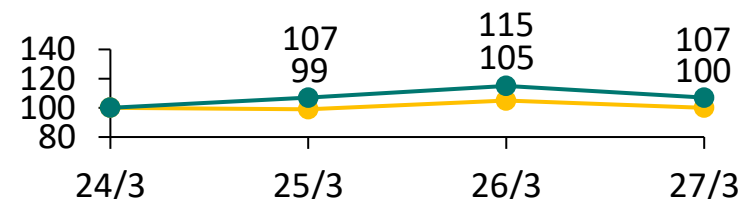
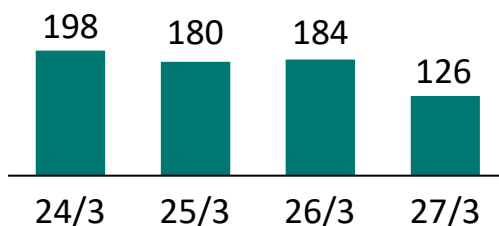


台湾



東南
アジア

(マレー
シア拠点)



注1：台湾と東南アジアのマイタケは日本からの輸入

(百万円)

	期初計画	2027年3月期 第1四半期	計画差	計画比増減率
売上高	19,141	19,343	202	1.1%
売上総利益	4,475	4,645	170	3.8%
売上総利益率	23.4%	24.0%		
販管費	4,506	4,227	△278	△6.2%
営業利益	△31	418	449	—
営業利益率	△0.2%	2.2%		
経常利益	146	777	631	432.7%
経常利益率	0.8%	4.0%		

中東情勢の影響が製造コスト面に若干出たものの、国内のきのこ単価が好調に推移し、
販管費も抑制できたことにより、売上高・営業利益ともに計画を上回った

(百万円)

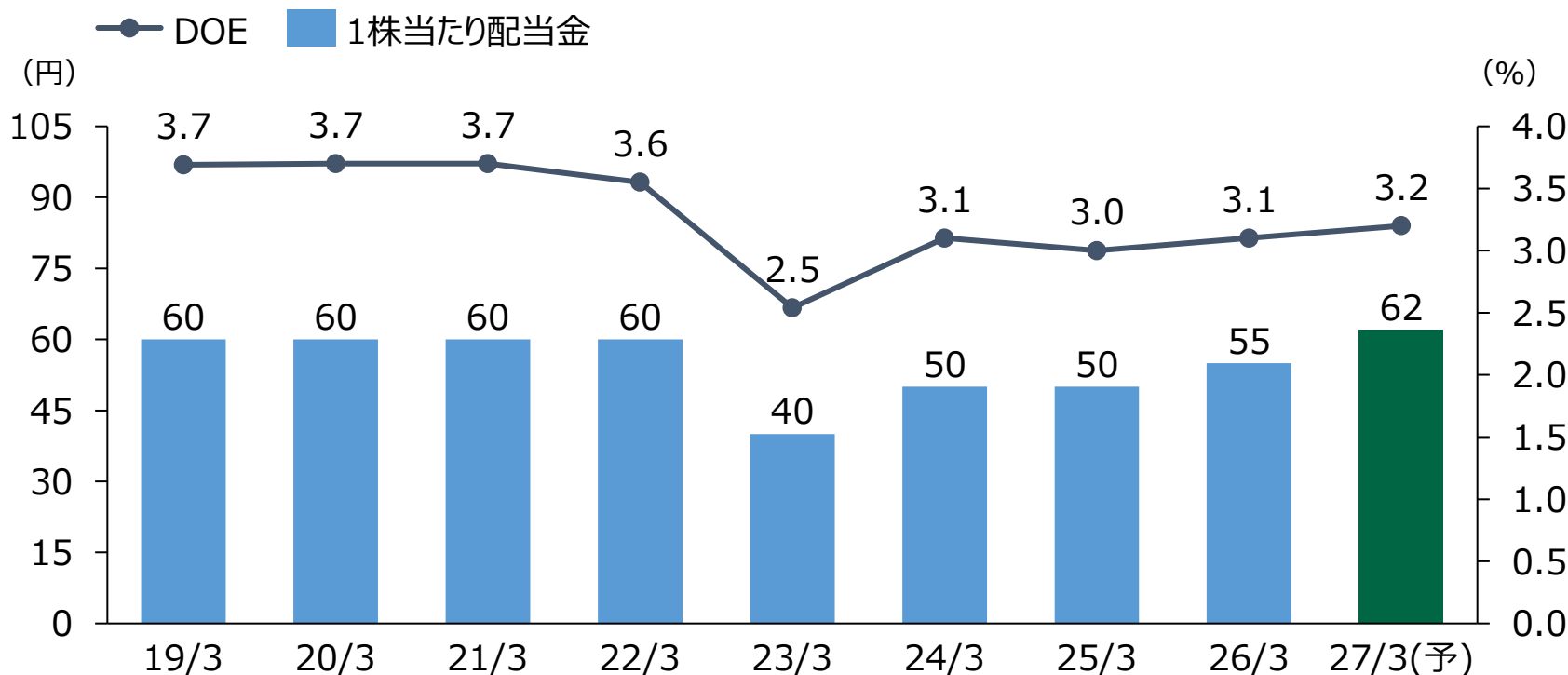
		期初計画	2027年3月期 第1四半期	計画差	計画比増減率
国内きのこと事業	売上高	11,948	12,095	146	1.2%
	営業利益	250	673	422	168.9%
海外きのこと事業	売上高	2,069	1,820	△248	△12.0%
	営業利益	209	82	△126	△60.4%
加工品事業	売上高	1,803	1,779	△24	△1.4%
	営業利益	4	39	35	863.9%
化成品事業	売上高	3,319	3,647	328	9.9%
	営業利益	122	188	66	54.4%

		期初計画	2027年3月期 第1四半期	計画差	計画比増減率
アメリカ	売上高	720万\$	607万\$	△112万\$	△15.6%
	営業利益	36万\$	△25万\$	△62万\$	—
	為替	156.60	162.39		
台湾	売上高	160百万NT\$	135百万NT\$	△25百万NT\$	△15.7%
	営業利益	32百万NT\$	18百万NT\$	△14百万NT\$	△44.2%
	為替	4.90	5.10		
マレーシア	売上高	360万RM	336万RM	△23万RM	△6.6%
	営業利益	△117万RM	△85万RM	31万RM	—
	為替	39.70	40.09		

2027年度の年間配当は以下の株主還元方針に従い、2026年度比で7円増配となる62円を計画。中間配当は10円を予想

株主還元方針

- ① 必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努める
- ② **DOEを2029/3期に3.5%**とすることを目標に配当
- ③ 内部留保は将来の成長に不可欠な戦略投資に優先的に投下



1. 2027年3月期第1四半期 決算報告

2. 北米事業の展望

3. 参考資料

これまでの喫食人口の増加は、きのこをよく食べるハイエンド・アジア系セグメントの人口増加によるものであり、本セグメント中心にマス層へもリーチを広げる

	セグメントの定義			喫食人口の推移		喫食人口割合増加の背景	
	居住地域	世帯収入	1人あたり喫食量	総人口	× 喫食人口割合	供給側	需要側
アジア系	—	—	多い (月2回以上)			各地域の、ハイエンド・大衆・アジア系スーパーへの流通量増加	— (文化として喫食する習慣がもともと存在する)
ハイエンド	大都市	\$150,000~	多い (月2回以上)			西部・北東部以外の大都市ハイエンドスーパーへの流通量増加	他のハイエンド層のSNS投稿が需要を喚起
	大都市 郊外~地方	\$50,000~ \$150,000 ~\$150,000	少ない (月1~2回)			大都市の大衆スーパーや、郊外~地方のハイエンドスーパーへの流通量増加	テレビ番組や友人からの勧めが需要を喚起
マス	大都市	~\$50,000	非常に少ない (月1回未満)			—	—
	郊外~地方	~\$150,000					
低喫食者							

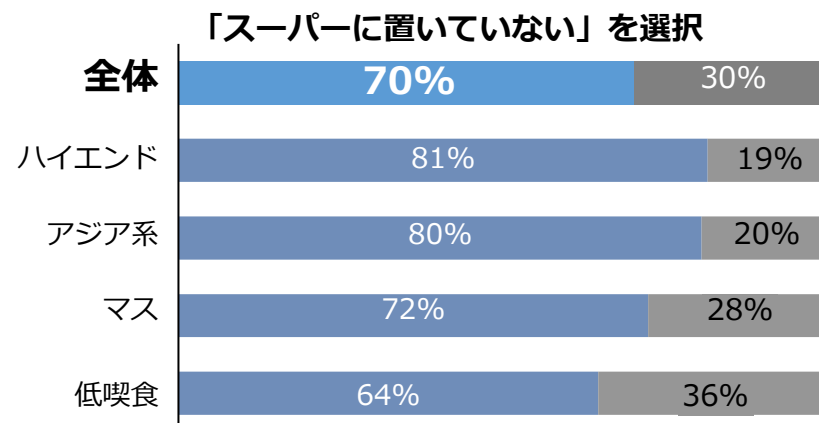
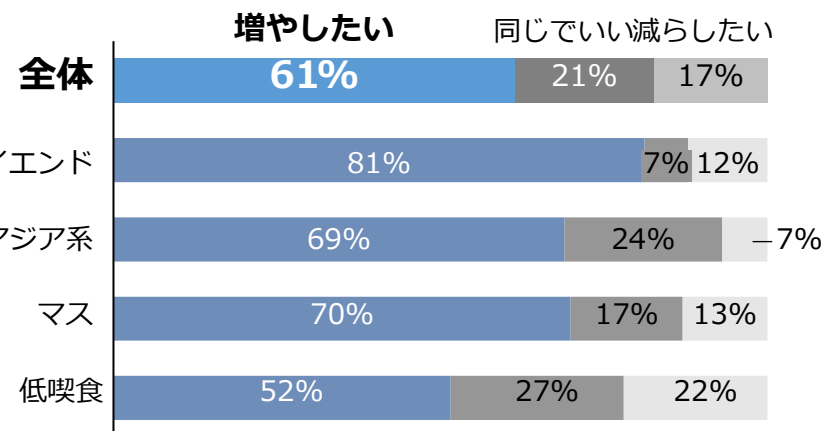
消費者の喫食意向は高いものの、売り場に無いが故の購買機会の不足が目立つ状況。
当社は営業強化による配荷拡大及び第2工場の稼働開始により、同市場機会を刈り取る

需要（≒消費者）の意向

ぶなしめじ等の今後喫食量を増やしたいか



喫食量を増やしたい場合、想定される制約はあるか



※セグメントの定義

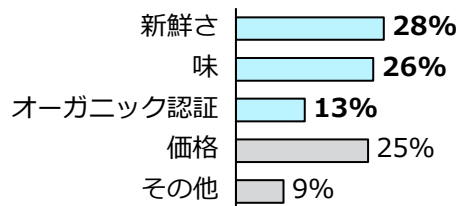
- アジア系以外
- ハイエンド：大都市・高所得者
- マス：大都市・中所得者、もしくは郊外～地方・高所得者
- 低喫食：上記以外
- アジア系



営業強化・配荷拡大により
アプローチ

米国市場において、当社のきのこは品質を評価され、高単価の小売店を中心に販売を拡大中

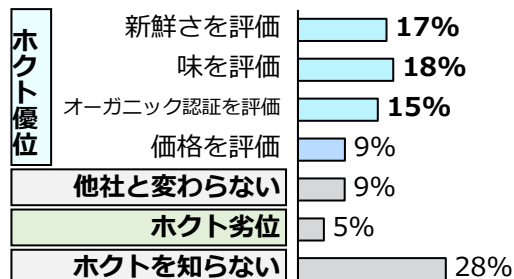
購入する際に最も重視する要素



品質重視：
67%

消費者は購入の際
に**品質を最重視**

当社きのこに対する評価



当社の
品質を評価：
50%

当社のきのこは
**消費者に
品質を高く評価
されている**

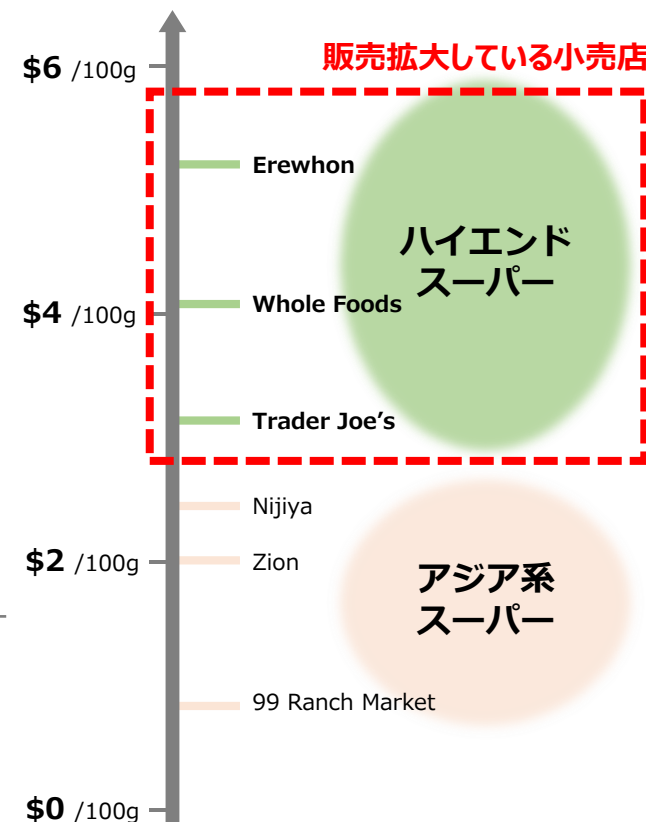


米国大手青果卸
調達・営業担当

- ホクトは**品質の高さ**で**バイヤーの間で非常に有名**である
- 健康・美食意識の高い消費者にもホクトは**高く評価**されている

当社のきのこは
**バイヤーからも
品質を高く評価
されている**

各スーパーのぶなしめじ小売価格のイメージ



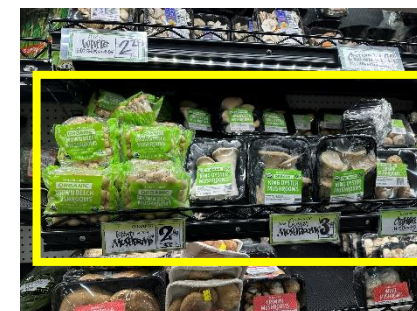
高級スーパー、アジア系スーパーチェーンを中心に販売を拡大中

概要

店舗・売り場写真（黄色枠内がホクト製品）

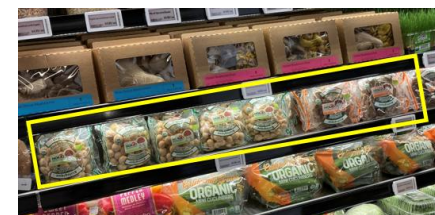
TRADER JOE'S

- 自然食品とオーガニック商品を多く取り扱う人気スーパー
- 全米608店舗中、306店舗にてホクト製品をPB商品として販売中



EREWHON

- ロサンゼルスに拠点を置く高級スーパーで高所得者層に人気
- カリフォルニア州に11店舗あり、全店舗でホクト商品販売中



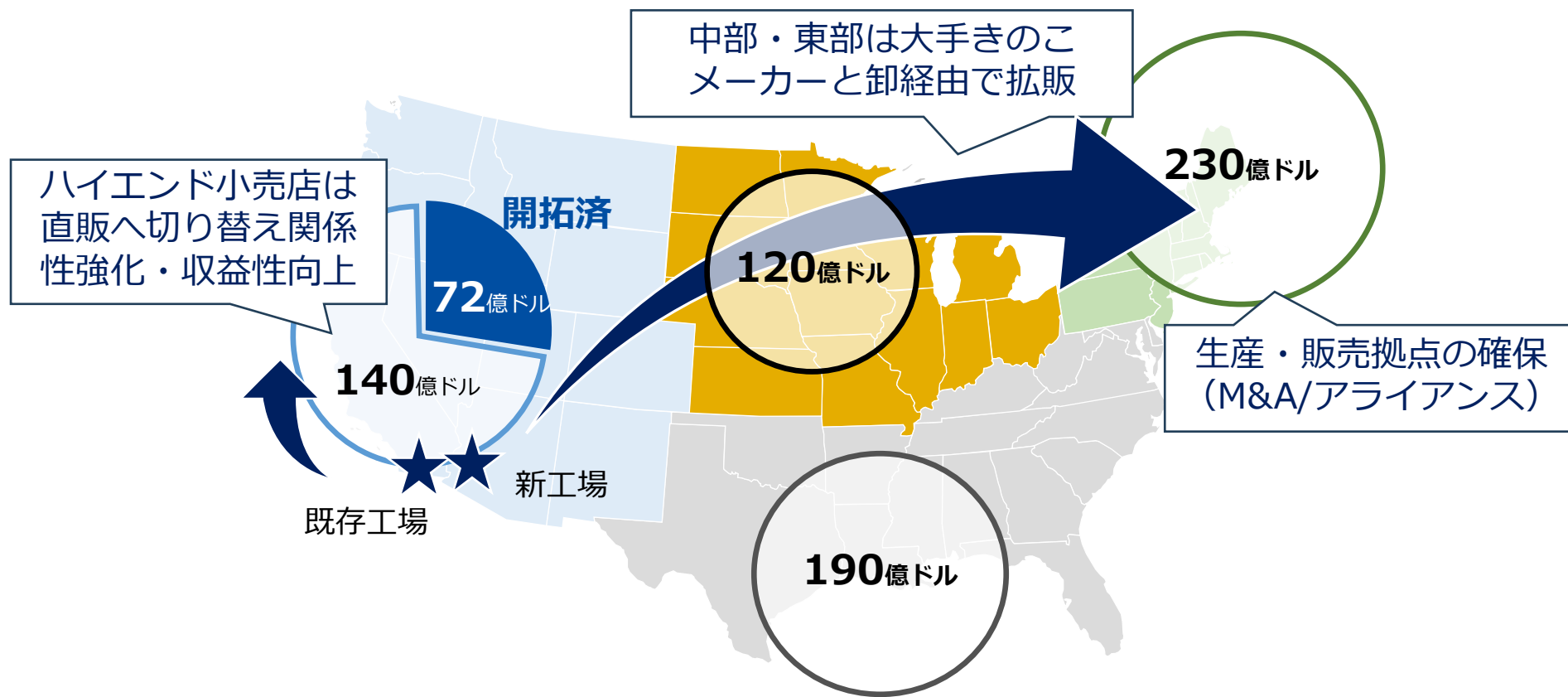
MART

- 全米展開のアジア系人気スーパー。アジア食材と新鮮な青果が豊富
- 全米112店舗中70店舗でホクト商品販売中

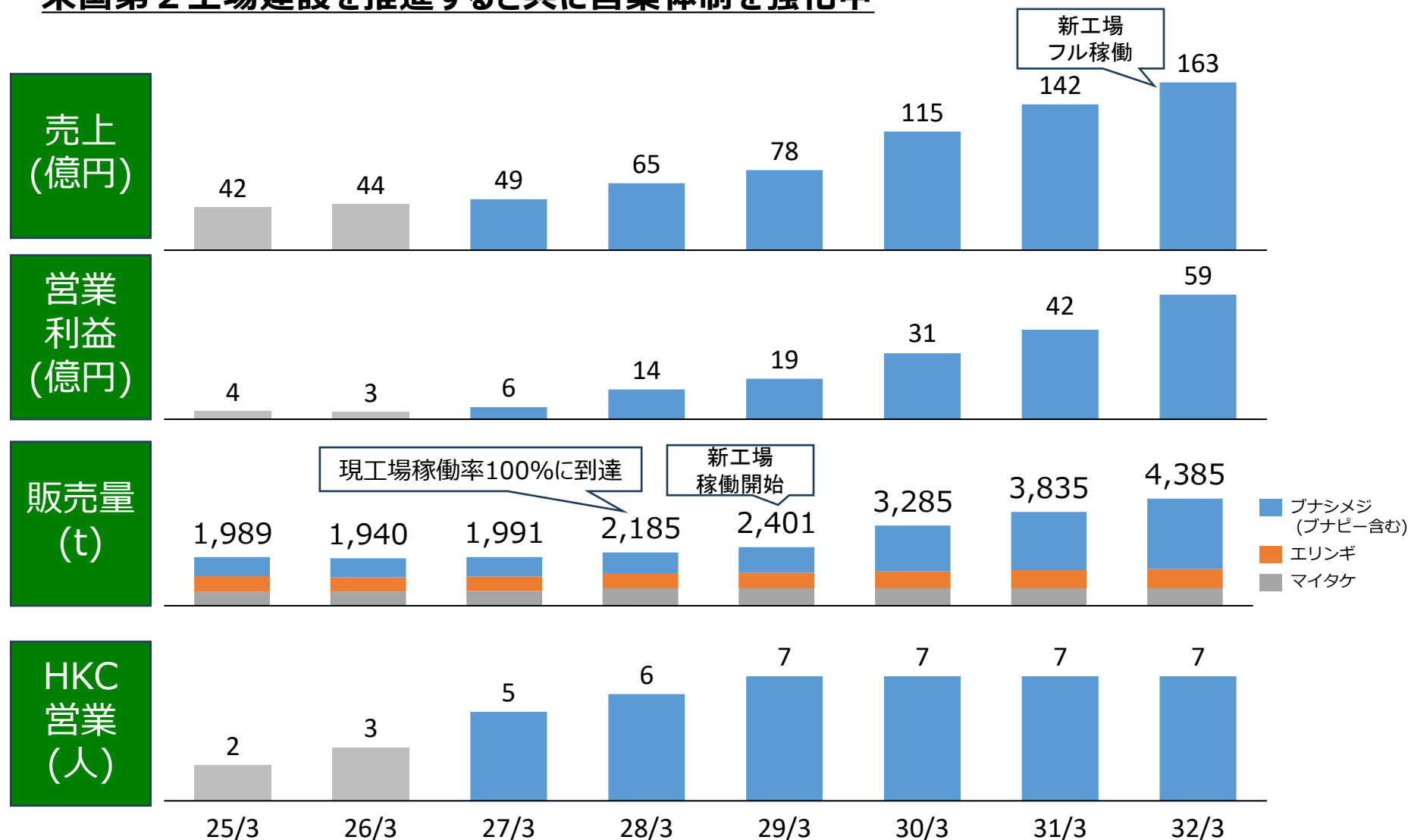


全米約750億ドルのハイエンドを中心とした小売り店舗のうち、既に開拓済みの市場規模は10%にも満たず、Hopeの米国市場における拡販余地は十分に存在

ハイエンドスーパーの地域別規模に対する当社開拓済みスーパーの合計売上高



**中期経営計画における海外事業売上154億円、営業利益27億円という目標に向けて、
米国第2工場建設を推進すると共に営業体制を強化中**



1. 2027年3月期第1四半期 決算報告

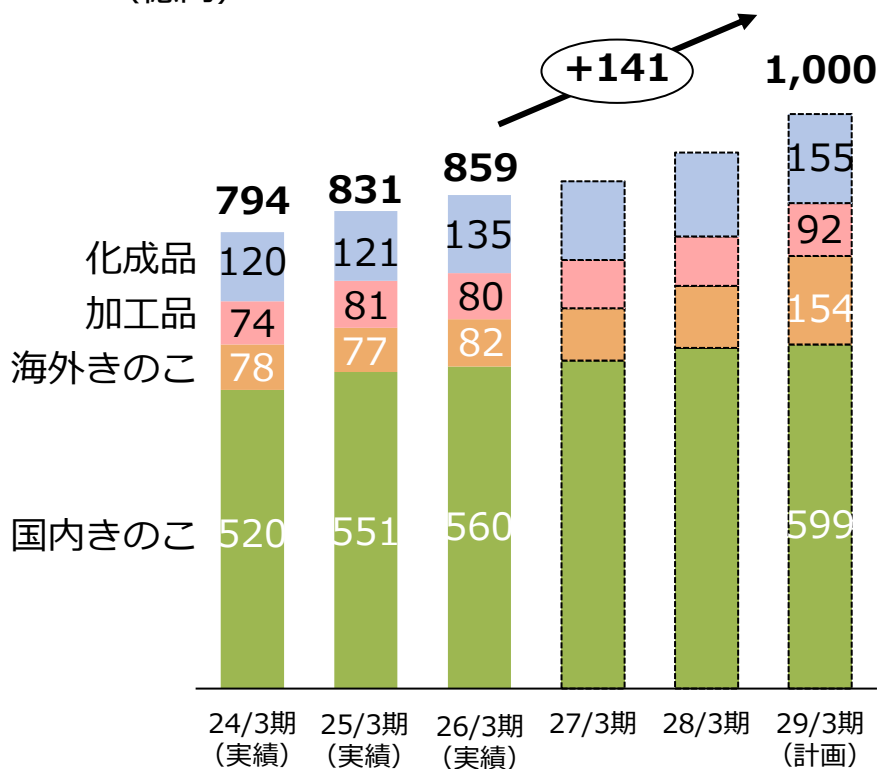
2. 北米事業の展望

3. 参考資料

2029年3月期に売上1000億円、営業利益100億円の達成を目指す

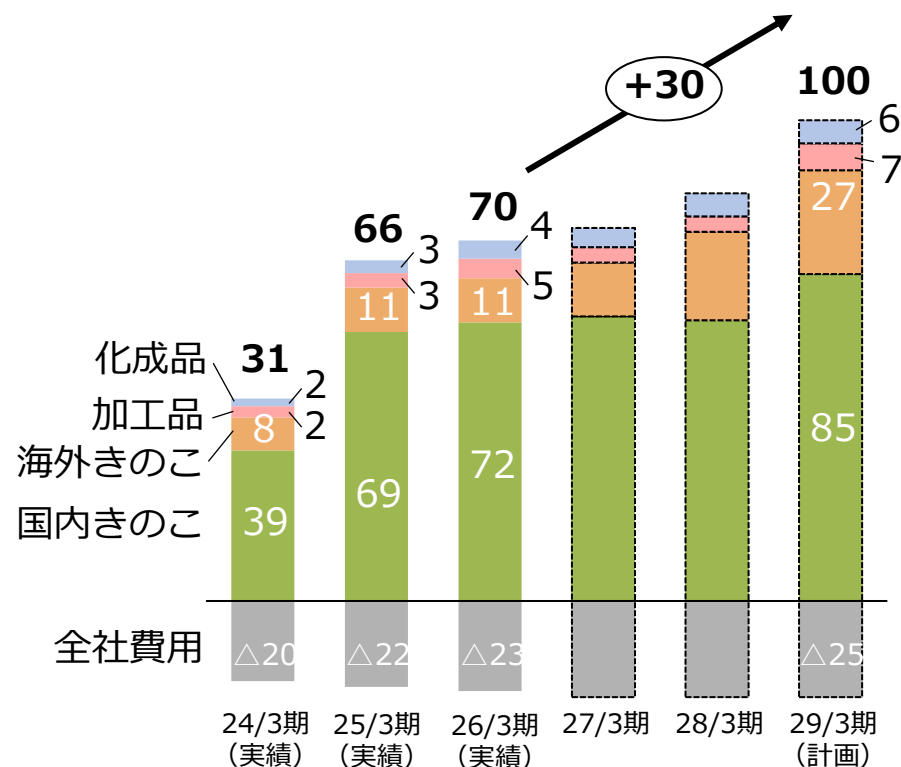
売上高（連結）

（億円）



営業利益（連結）

（億円）



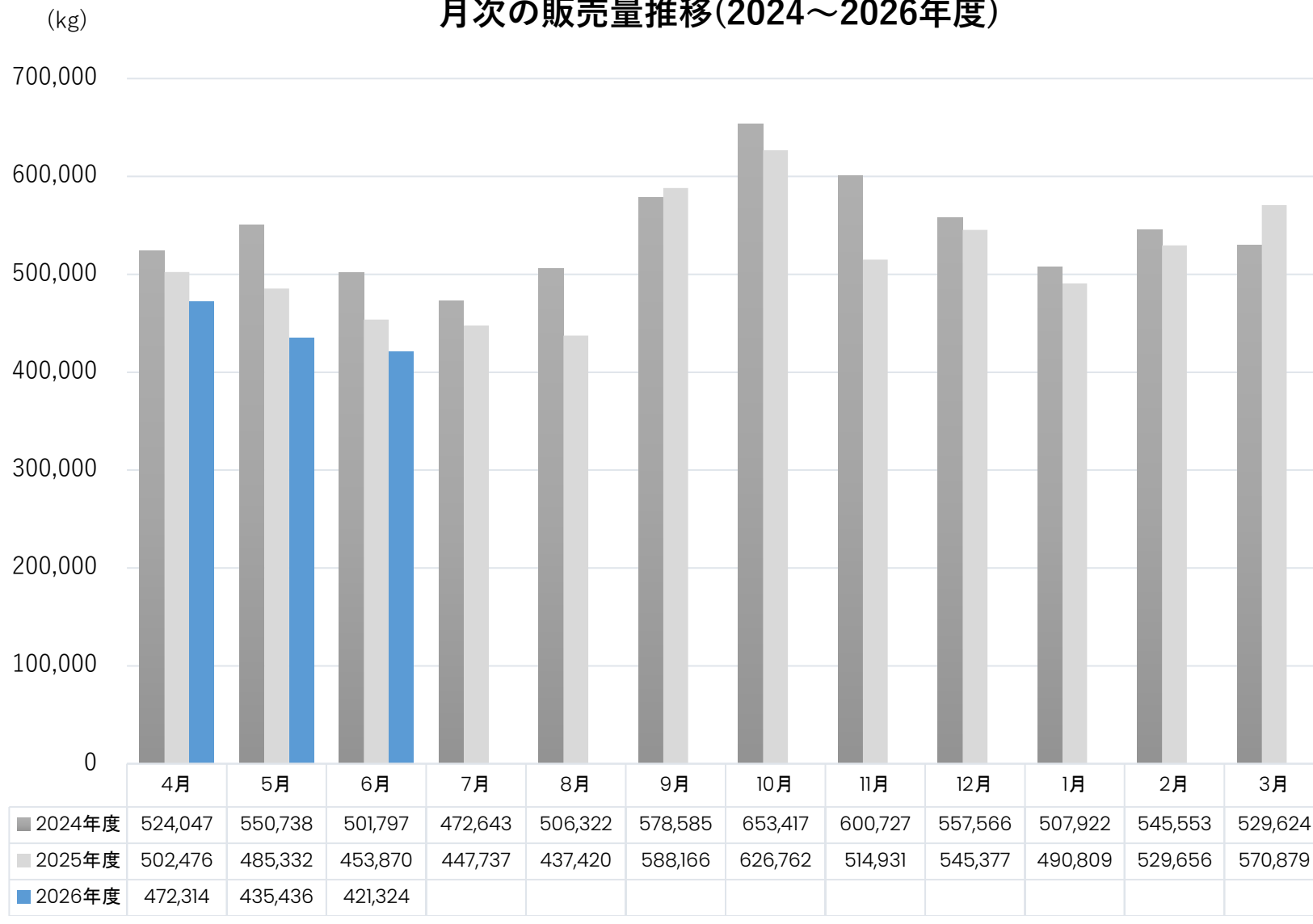
(円/kg)

月次の価格推移(2024～2026年度)



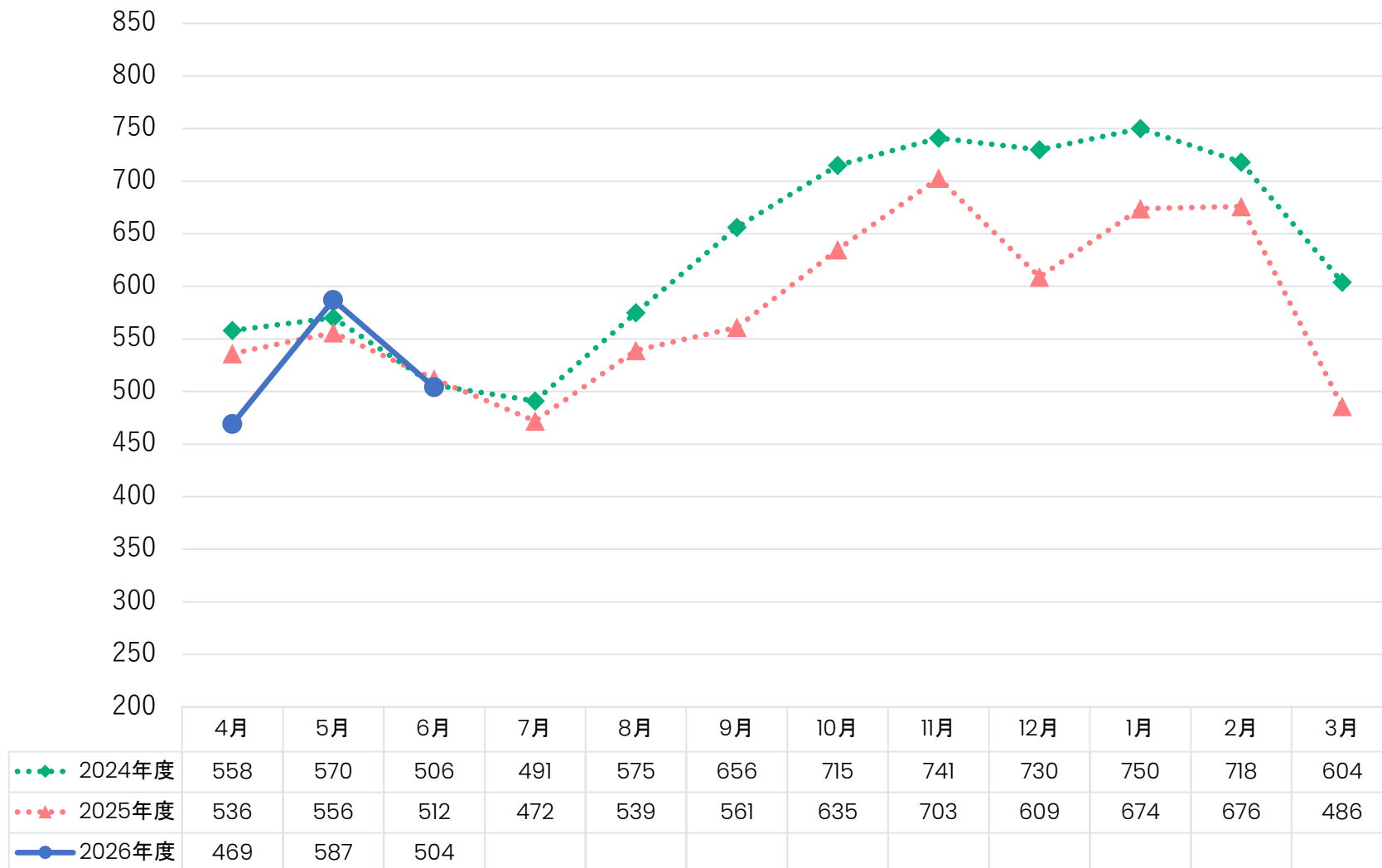
平均 価格
508
478
430

月次の販売量推移(2024～2026年度)



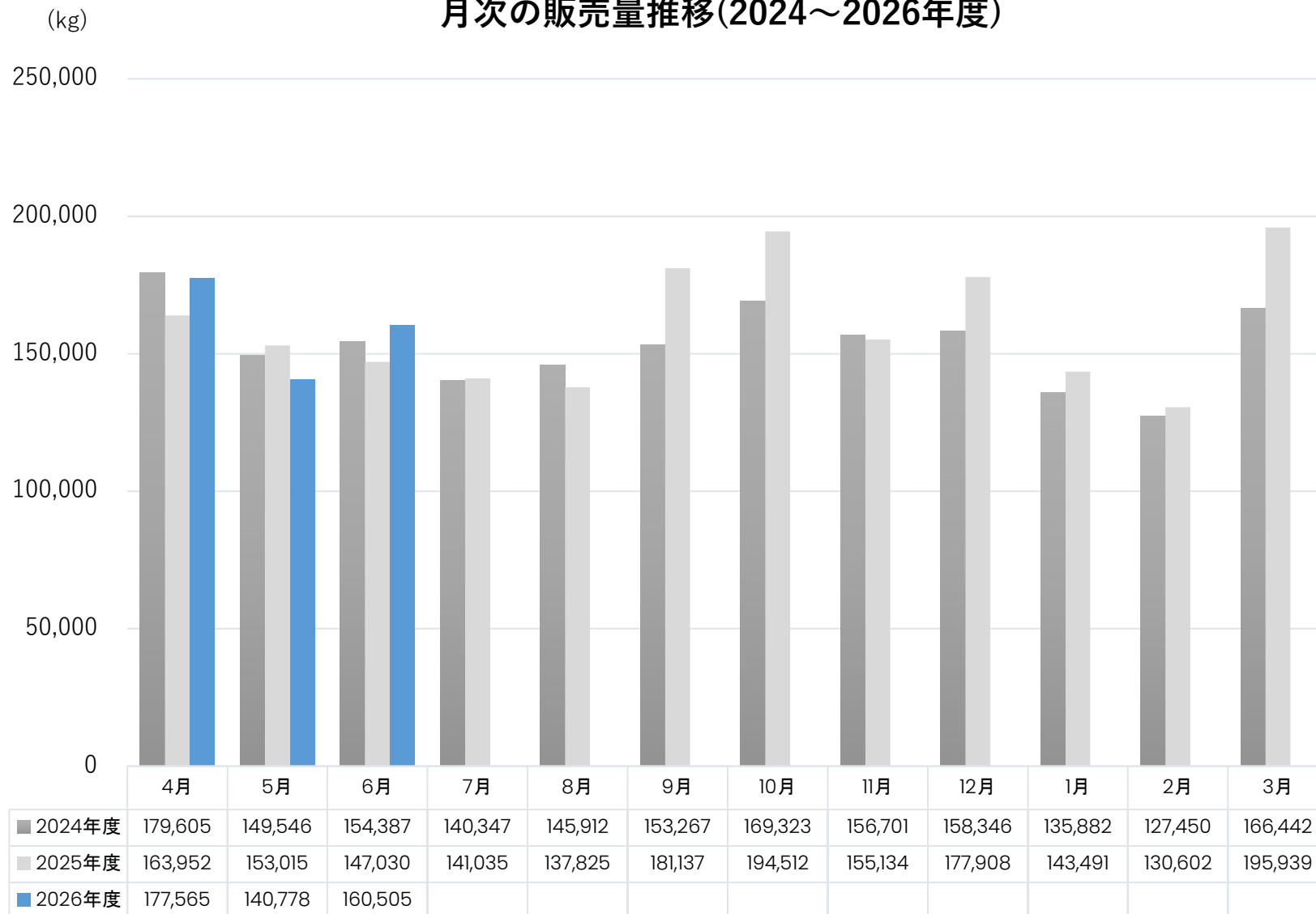
月次の価格推移(2024～2026年度)

(円/kg)



平均 価格
633
579
515

月次の販売量推移(2024～2026年度)



年間
販売量

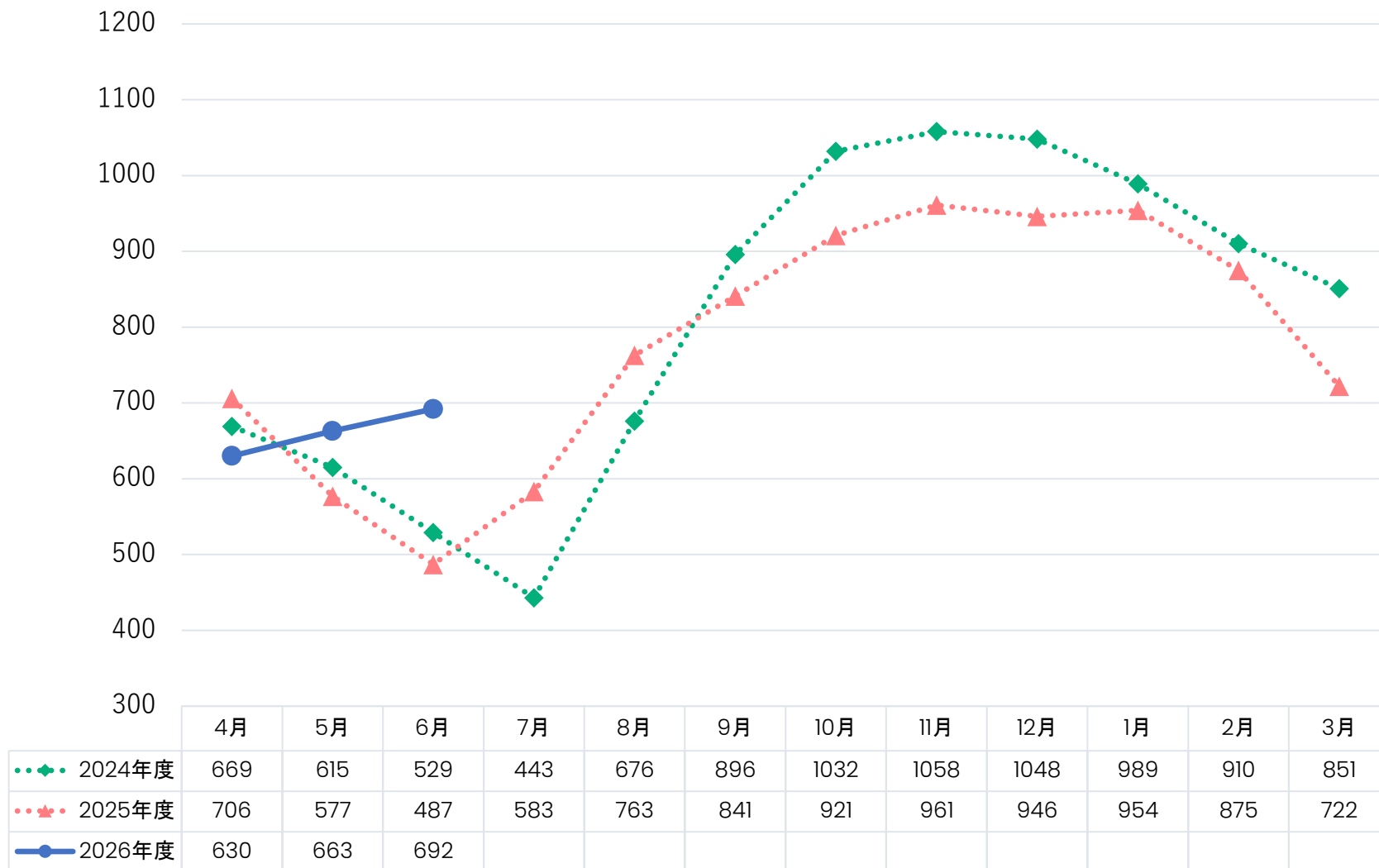
1,837,208

1,921,580

478,848

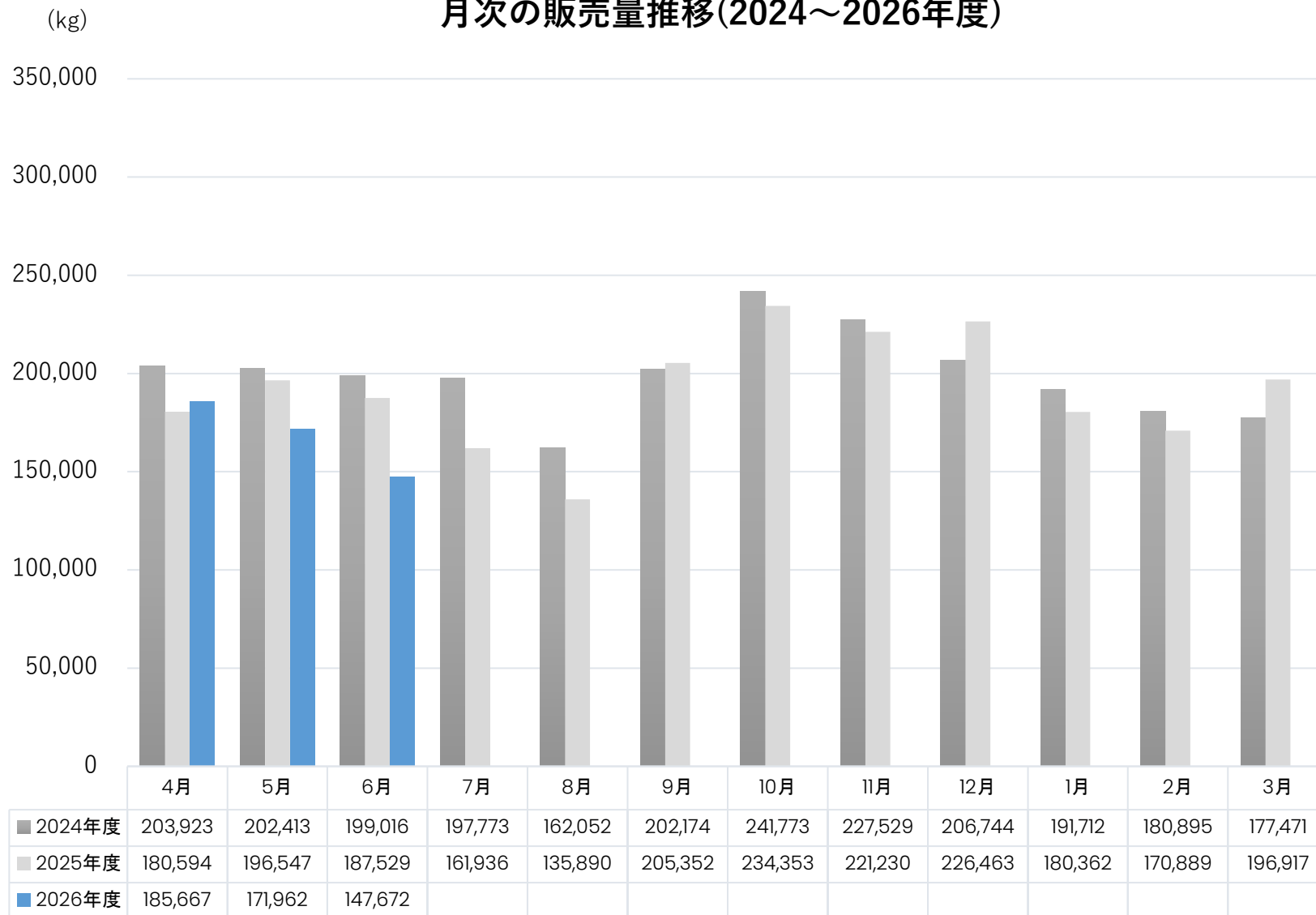
月次の価格推移(2024～2026年度)

(円/kg)



平均 価格
817
787
659

月次の販売量推移(2024～2026年度)



年間販売量
2,393,475
2,298,062
505,301

	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ (ブナヒ°-含む)	102.8%	101.8%
エリンギ	108.5%	102.8%
マイタケ	107.5%	105.0%
霜降りひらたけ	105.7%	103.9%

マーケティング活動が奏功しきのこの単価は好調

	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ (ブナヒ°-含む)	99.4%	100.2%
エリンギ	93.9%	97.6%
マイタケ	94.9%	100.3%
霜降りひらたけ	110.7%	101.2%

生産量はほぼ計画通り



HOKTO ホクト株式会社

所在地	長野県長野市	時価総額	60,980百万円 (2026年6月末)
代表者	代表取締役社長 水野雅義	株主資本	59,994百万円
証券コード	1379	従業員数	4,086人
上場市場	東京証券取引所プライム市場	主要事業	きのこの生産・販売
発行済株式数	33,359,040株		(2026年3月末時点)



ホクト産業株式会社
化成品の製造・販売



HOKTO KINOKO COMPANY
北米でのきのこ生産・販売



株式会社アーデン
レトルトパウチ食品の製造



台灣北斗生技股份有限公司
台湾でのきのこ生産・販売

株式会社サン・メディカ

Mushroom Wisdom, Inc,

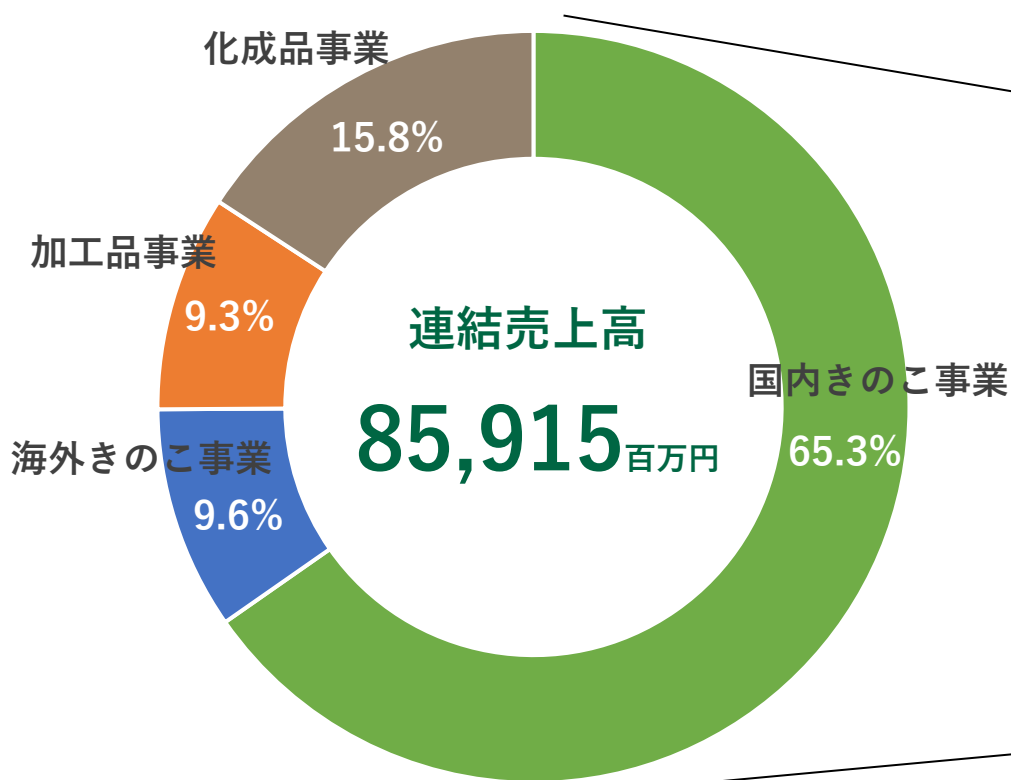
PT HOKTO INDONESIA MATERIALS



HOKTO MALAYSIA SDN.BHD.
東南アジアでのきのこ生産・販売

セグメント

きのこ生産量



IRに関するお問い合わせ

財務本部 広報・IR室

TEL: 026-259-5955

ホクト株式会社

